

見どころ案内

ハナショウブ & アジサイまつり開催中
6月2日～24日までの土日

ヒメアジサイなど (アジサイ科)

日本庭園を中心に約 140 品種 2200 株のアジサイを植栽しています。アジサイ展 (屋外展示場) も、お見逃しなく。

スイレン

(スイレン科)
熱帯スイレンと異なり、寒さに強いので日本の屋外でも越冬できます。フランスの著名な画家クロード・モネがよく描いたことで知られます。

チャボ

イランイランノキ

(バンレイシ科)
イランイランノキのわい性品種。花に芳香があり、精製したイランイランオイルは高級香水の原料になります。

カスケード花壇の植物

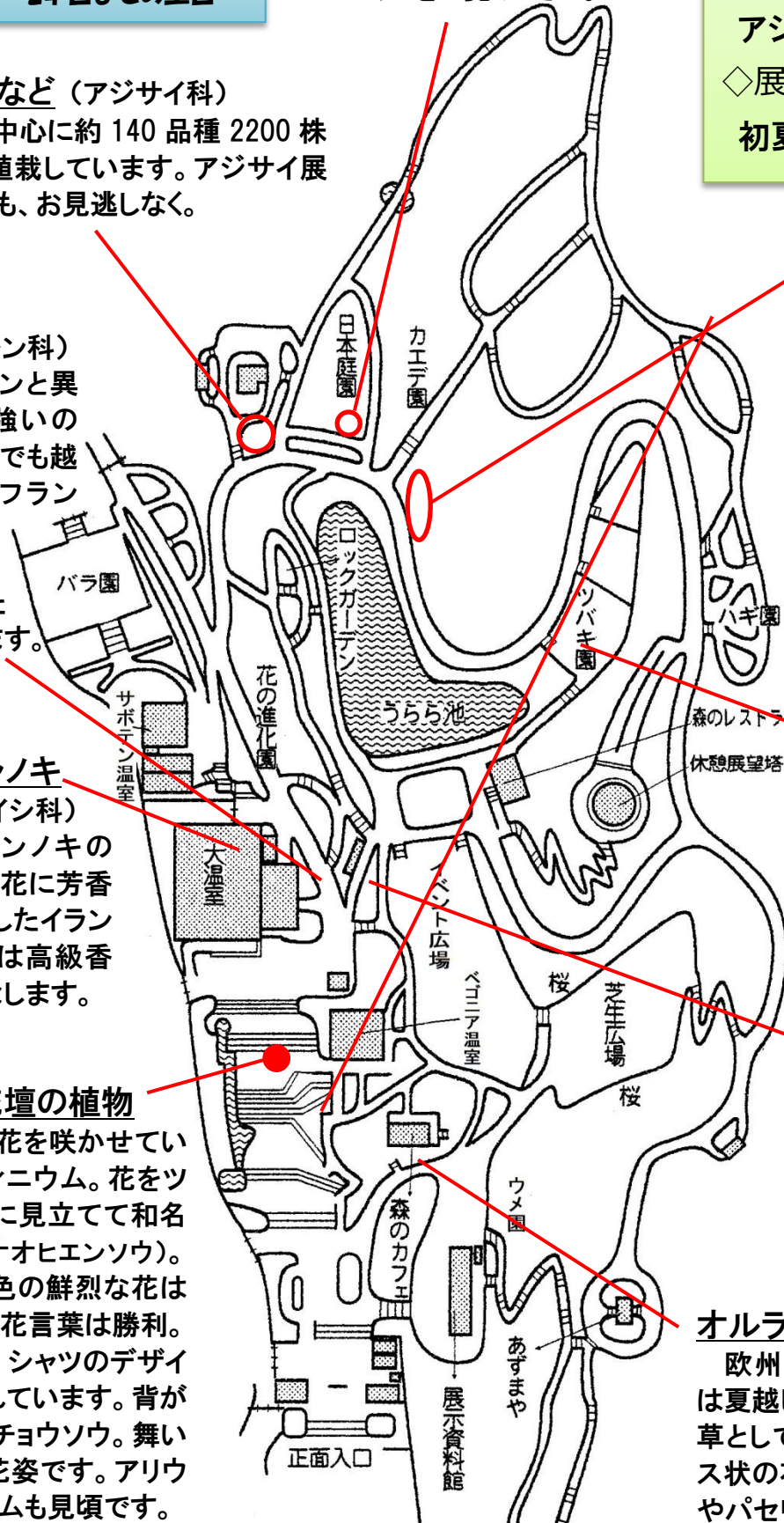
見事な穂状花を咲かせているのはデルフィニウム。花をツバメが飛ぶ姿に見立てて和名は大飛燕草(オオヒエンソウ)。オレンジや黄色の鮮烈な花はナスたちウム。花言葉は勝利。カープコラボ T シャツのデザインにも採用されています。背が高い株はハクチョウソウ。舞い踊る蝶のような花姿です。アリウム・ギガンチウムも見頃です。

モリアオガエルの卵塊

らんかい
日本庭園フジ棚近くのカエデの枝に、夜産み付けられた泡に包まれた卵塊を観察できます。雨上がりの翌朝が狙い頃です！見頃のハナショウブについては別紙のリーフレットをご覧ください。

展示会のご案内

- ◇展示温室 (6/9～14)
- ウチョウラン展
- ◇屋外展示場 (6/2～24)
- アジサイ展
- ◇展示資料館 (6/9～14)
- 初夏の小品盆栽展



ブラシノキ (フトモモ科)

豪州を中心に分布する植物です。和名は花姿が洗瓶ブラシに似ていることから。赤色の部分は雄しべが長く伸びたもので、先端の黄色い葯(やく)が目立ちます。別名の金宝樹は花(雄しべ)の形態を宝石に見立てたものでしょう。

バーベナ・ボナリエンシス (クマツヅラ科)

園芸的には三尺バーベナの名で出回っています。蜜源植物として知られ、ガーデンに多くのチョウを呼び寄せます。

常緑ヤマボウシ

(ミズキ科)
白く花弁に見えるのは、苞葉(ほうよう)で葉が変化したもの。ヤマボウシやハナミズキと違い、冬に落葉しない常緑樹です。

オルラヤ (セリ科)

欧州原産の多年草です。日本では夏越しが難しいので秋蒔きの一年草として扱います。群植するとレース状の花がきれいです。ヘンルーダやパセリの花も咲いています。